令和2年度第4回運営委員会会議録(確定稿)

- 3 ■開催日時:令和2年10月20日(火)午後7時00分~9時00分
- 4 **■**開催場所: オンライン開催 (Zoom)
- 5 ■出席委員:海老澤委員、熊谷委員、古林委員、櫻井委員、佐藤委員、柴委員、樋口委員、
 - 久松委員、平林委員、星委員、馬渕委員、三好委員、森谷委員<以上 13 名、五十音順>
 - |■事 務 局:小松センター長、鈴木副センター長、妻屋福祉活動推進課長、利光地域福祉推進係長、
 - 塚澤主任

9 10

11

6

7

8

|.報告事項

- 1.業務報告について
- 12 事務局より、7月から9月の主事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相 13 談の状況について説明があった。
- 14 委 員:新しい登録団体の、NPO法人生活サポートライフ&ベーシックだが、住宅確保要配慮者への 15 住まい探しのお手伝いをしていると思う。以前空き家問題に関心を寄せて学習会等手伝って 16 きた経緯があるので、空き家を住居につなげるような可能性がこの団体の相談の対象であっ たか。
- 18 事務局:団体の代表が不動産会社を経営しており、思いはあるが、どのように活動したらよいか手探 19 り状態であるとのこと。まずは地域とつながりたいとの要望があり、南部地域協力ネットワ 20 ーク等紹介した。今後、空き家対策などにつなげていきたいなどの相談は現時点ではなかっ 21 た。
- 22 委 員:今後空き家対策などの活動ともつながると良いと思う。
- 23 委員長:新しい登録団体の西東京学童クラブ連絡協議会が、今後どのような形でゆめこらぼに活動や 24 支援を求めているのか知りたい。
- 25 事務局:登録の段階では今後の展望で臨んでいる協働などの支援についての話はなかったが、貸出し 26 機材などのバックアップ体制に共感していた。
- 27 委員長:現段階での NPO 市民フェスティバルの申込状況が知りたい。
- 28 事務局:現段階では 10 件程度の申込みなので、今後、電話掛けなどをしていく。
- 29 委員長:今年度はコロナ禍での活動をどうしていくかなど、NPO 市民フェスティバルでオンラインな 30 どを取り入れているので是非この場を活用してもらいたい。
- 31 委員:地域の団体の中で、オンラインについてやり方がわからないので教えて欲しいなどのニーズ 32 や相談などがあれば教えて欲しい。
- 33 事務局:4月あたりから、Zoomって何、リモートワークとは何、という声は上がっていた。協議事項 34 の中にあるが、ゆめこらぼ主催でオンラインの始め方講座の開催につながった。
- 35 委員長: NPO 市民フェスティバル関係で何か意見はないか。
- 36 委 員:動画の作り方のレクチャーが発信されていないので、早く発信してもらいたい。
- 37 委 員:今回初めての事が多く、参加する団体も先が見えないと思うので、その都度説明をしていく 38 方法が良いと思う。
- 39 委 員:動画の取り方の宣伝をすれば参加者も増えるのではないかと思う。

1 委員長:動画の編集を進めているので、今週中には発信したいと思う。

2

3 2.10 降の実施事業について

4 事務局より、10月以降の実施事業について説明があった。

5 委 員:確認だが、NPO 市民フェスティバルの参加団体が決まった後、参加団体も NPO 市民フェス
6 ティバル実行委員会へ参加するのか。

7 事務局:参加しない。

8

2. 審 議 事 項

- 10 1. 前回の会議録について
- 11 委員長:意見がなければ確定稿とする。

1213

3. 協 議 事 項

- 14 1. センターの業務執行に関する事項(重点事業の企画)について
- 15 事務局より、NPO パワーアップセミナー「あなたの団体活動へ、やさしいオンラインのはじ 16 めかた!」(企画案)について説明があった。
- 17 委 員:申込方法はゆめこらぼに直接連絡するのか。
- 18 事務局:メールでの申込となる。
- 19 委 員:可能であれば、画面のキャプチャをとった簡単なマニュアルを参加者に持って帰ってもらえ 20 ると良い。インターネットだと詳しすぎるので、かえってわかりにくかったりする。簡単な
- 21 ものが良い。
- 22 委 員:オンライン一辺倒から最近はオンラインから対面へとの動きが出てきている。オンラインと 23 同時に、対面とオンラインを両立させるにはどうしたらよいかという部分のツールとしてア
- 24 イデアが出ると良い。
- 25 委員: どこかに 15名が集まって 200m のやり取りをするのか。200m がわからない人がどうやって 26 200m に入るのか。
- 27 事務局:各々の場で Zoom で入ってもらい、Zoom で教えていく。現在も講座の前にプレで Zoom に 28 繋いでもらい、不安を解消している。
- 29 委 員:通信環境を気にする方も多いので、西東京市の公の場でフリーWi-Fi が利用できる場などあ 30 れば、情報の提供をすることで団体としても助かるのではないか。
- 31 事務局:公の場でフリーWi-Fi が全くないことはないが、団体が活動しやすい公民館等はないので、 32 フリーWi-Fi が利用できる場の情報提供をしていきたい。
- 33 委 員:市民活動団体が今後オンラインを利用できるような内容になるのか。プライベートでオンラ 34 インを利用するというよりは、団体の活動に沿ったものになるのか。
- 35 事務局:両方かとも思うが、市民活動団体のなかで一人でもできる方を育成し、やってみようかとい 36 うきっかけや気づきの場となるような事業にしたい。
- 37 委 員:コロナ対策で、現在面会も会議も全て Zoom を利用している。施設の管理者としては外に出
- 38 ることによる感染リスクを心配しているので、現状 Zoom が広まっており利用頻度は上がっ
- 39 ている。
- 40 委員長:協議内容を反映して、事業を進めて欲しい。

3 2. 上半期報告事項について

4 事務局より、令和2年度上半期西東京市市民協働推進センター運営事業報告(案)について 5 説明があった。

- 6 委 員:今回の報告書は数字という形だけに縛られるものではない。この状況下で活動団体がどうい う状況にあり、それに対しどのようにゆめこらぼが対応してきたのかが大切だ。例えば助成 金などは、厳しくなっている運営に関するお金等や活動に対して、どのような情報提供がな されているのかが大切となる。相談の内容がどのようなことにつながっていったのかを丁寧 に伝えるのもよい。具体的な団体の活動や事例の様子がまとまった形で伝わる報告書となる とよいのではないか。
- 12 委 員:計画自体はコロナ禍を想定していない数値目標なので達成できない前提で良いのではない 13 か。この状況の中で機能したこと、できたことを前面に出し報告すると良い。市民や市民活 14 動団体がこの暗闇の中を走り続けられたのは中間支援組織の支えがあったので、その支えの 部分を全面に出すと良い。
- 16 委 員:報告書というのは市に提出するのか。そういうこともよく理解していない。そもそもこの報 17 告書は誰に対して提出するものか、今年度から参加している委員もいらっしゃるので、その 18 あたりの説明をして欲しい。
- 19 事務局:上半期の報告については、社会福祉協議会の中で監事監査が行われるので、そこで報告す 20 る。事前に委員への報告をさせていただいた。
- 21 委 員:各部署一部門の報告を組織に報告するというイメージか。一年間の報告書は受託を受けてい 22 る市に対して提出するのか。
- 23 事務局:西東京市に対しても年度の報告は行うが、理事会、評議員会の承認を得て法人の公式な報告 24 となる。
- 25 委員長:内部の評議を経て公式な報告となるということか。
- 26 事務局:社会福祉協議会も地域の方々に参画してもらっている理事会、評議員会がある。その場で社 27 会福祉協議会の事業内容やゆめこらぼの事業内容も報告する。社会福祉協議会の事業を理解 28 し、応援してもらう場で報告書をもとに説明する。
- 29 委員長:今年度は年度当初計画した事業が出来ないことが多く、通常の事業報告とは違うものとなる 30 と思っている。この状況下で良くここまでできたと率直に感じている。代替え案においては 31 多岐にわたっており、成果として記載されているものは成果として押し出されるべきもの 32 だ。
- 33 委 員:初めての体験がたくさんあった中で例年とは違う形の報告書となるのではないか。どの団体 34 もアイデアを出しながら活動が見えてきたと感じている。
- 35 委 員:今回、当初のフォーマットだけでは対応できない。今回はこれで良いが、年度の報告では新 36 型コロナ感染拡大という状況の中で、このフォーマットによらない新たな取り組みとか地域 37 の中で困ったという声に即して活動してきたことは、新たな報告のフォーマットを考える必 38 要がある。
- 39 事務局:是非参考になるフォーマットを頂きたい。

1 4. その他

- 2 1. 今年度について
- 3 事務局より、今年度について説明があった。
- 4 委員長:第三者評価は外部組織に依頼するのか。
- 5 事務局:今年度は実施しないため依頼もしない。
- 7 2. 次年度について

6

- 8 事務局より、次年度について説明があった。
- 9 委 員:どこも厳しい状況である。同一労働同一賃金の説明が強調されていたが、人を確保するにあ
- 10 たり人件費をきちんと確保しなくてはならないが、人件費と事業費のバランスの中で、事業
- 11 費という面で厳しい予算になるということか。
- 12 事務局:同一労働同一賃金はしっかり確保しなくてはならない。しかし、トータルとしての財政状況
- 13 が厳しく、委託事業なので人件費面と事業費面に理解をしてもらい次年度を迎えたい。厳し
- 14 いが、事業を進めるため市に理解を求めていきたいと考えている。
- 15 委 員:委託事業には利点と欠点がある。委託の主体は市になってくる。運営委員や社会福祉協議会
- 16 や市民側が希望を出しても行政が決めるという問題点はあるが、今回はこの責任をどこがも
- 17 つかと言えば市にある。市民活動推進に必要な費用を厳しい中でも確保することの主体は市
- 18 にある。そういう立場できちっと伝えていく必要があるという理解でよいか。運営委員とし
- 19 ても市が一方的に予算を削ったりすることにならないように、要望したり状況を聞きながら
- 20 進めていく責任があるという理解でよいか。
- 21 事務局:そのように進めていく。
- 22 委員長:事業水準は今の水準で進めてもらいたい。同一労働同一賃金を保つために事業水準が下がっ
- 23 てよいものではない。事業水準を保つために必要な人件費があることを要望し進めて欲し
- 24 v.

30

- 25 委 員:UD トークを以前取り組んでいた。Zoom との相性も良いので引き続き取り入れてはもらえな
- 26 いか。
- 27 事務局:検討する。
- 28 委 員:運営委員に聴覚障害の方に参加してもらえる。NPO 市民フェスティバルにも広がりがでるの
- 29 ではないか。ぜひ検討して欲しい。
- 31 3. 次回運営委員会日程について
- 32 日時: |2月|5日(火)|9時~2|時
- 33 会場:オンライン開催 (Zoom)